

利益相反（COI）開示に関して

学術大会での発表にあたり、筆頭演者は、共同演者を含む全ての演者について、発表内容に関する企業・団体からの利益に関して、以下の基準にのっとり、開示を行う必要があります。

COIに係る開示項目	
1. 報酬	1つの企業、組織等から年間100万以上
2. 株式	1つの企業、組織等から年間100万以上の利益、あるいは当該株式の5%保有
3. 特許使用料	1つにつき年間100万以上
4. 講演料	1つの企業、組織等から年間50万以上
5. 原稿料	1つの企業、組織等から年間50万以上
6. 研究費・助成金	1つの企業、組織や団体から研究経費を共有する所属部局（講座、研究室等）に支払われた総額が年間200万円以上
7. 奨学（奨励）寄付	1つの企業、組織や団体から研究経費を共有する所属部局（講座、研究室等）に支払われた総額が年間200万円以上
8. 企業などが提供する寄附講座	企業などからの寄附講座に所属している場合に記載
9. 旅費、贈答品などの受領	1つの企業、組織や団体から年間5万円以上

開示例（口頭発表）：スライドに挿入してください。

利益相反「なし」の場合

第36回日本舌側矯正歯科学会 学術大会
COI 開示

筆頭発表者氏名： ●●●● ●●●● ●●●●

演題発表に関連し、発表者全員について
開示すべきCOI 関係にある企業等はありません。

利益相反「あり」の場合

第36回日本舌側矯正歯科学会 学術大会
COI 開示

筆頭発表者氏名： ●●●● ●●●● ●●●●

演題発表に関連し、発表者全員を対象開示すべきCOI関係にある企業等として

①顧問：	X X X X X 株式会社
②株保有・利益：	X X X X X 株式会社
③特許使用量：	X X X X X 株式会社
④講演料：	X X X X X 株式会社
⑤原稿料：	X X X X X 株式会社
⑥受託研究・共同研究費：	X X X X X 株式会社
⑦奨学寄付金：	X X X X X 株式会社
⑧寄附講座所属：	X X X X X 株式会社
⑨贈答品などの報酬：	X X X X X 株式会社

開示例（学術展示）：ポスター掲示の最後にCOI 状態を開示ください。

演題発表に関連し、発表者全員について開示すべきCOI 関係にある企業等はありません。

全発表者のCOI (利益相反)開示

①顧問：	X X X X X 株式会社
②株保有・利益：	X X X X X 株式会社
③特許使用量：	X X X X X 株式会社
④講演料：	X X X X X 株式会社
⑤原稿料：	X X X X X 株式会社
⑥受託研究・共同研究費：	X X X X X 株式会社
⑦奨学寄付金：	X X X X X 株式会社
⑧寄附講座所属：	X X X X X 株式会社
⑨贈答品などの報酬：	X X X X X 株式会社